

Technical Data Sheet

90-58305 Castleton 8030/8031 ガラス交換キット

キットに含まれるもの			ご用意いただくもの
3030-055	ガラス	1枚	はさみ
3110-056	1/4インチ・ロープガスケット	140 cm	ドライバー
3120-021	ガラスクリップ用ガスケット	8枚	ワイヤーブラシ
4500-2105	ガラスクリップ用ネジ	8ヶ	作業用グローブ
5021-060	ガラスクリップ	8ヶ	潤滑スプレー(必要に応じて)

始める前に

- 必ずストーブが冷めた状態で作業してください。ドアは外さずに作業します。
- 割れたガラスの扱いには十分ご注意ください。
- ガラスには表と裏があります。シールの貼ってある面を表(外側)に向けて取り付けてください。
- ネジをきつく締めすぎないようにご注意ください。ガラスは熱で膨張しますので、きつく締めすぎるとヒビや破損の原因になります。

手順

1. ストーブのドアを開け、ガラスクリップを固定しているネジ(8箇所)を外します。(ネジが錆びついて外れにくい場合は、無理に外そうとせず、潤滑スプレーを塗布後しばらく置いてください)作業用グローブをはめ、割れたガラスを慎重に取り外し、廃棄してください。
2. 古いガスケットを取り除いたら、溝の汚れやサビをワイヤーブラシで落とし、かたく絞った布で残った汚れをきれいに拭き取ります。新しいガスケットはシール付なので、接着剤は不要です。ガスケットについている紙を少しずつはがしながら、シール面を溝のほうへ、ガスケットを溝に押し込むように装着します。ガスケットは引っ張らず縮めず、一周したらガスケットが重ならないように、余分な分はカットしてください。
3. 新しいガラスは、シールの貼ってある面が外側にくるようにセットし、クリップとネジで元通りに固定します。この時、ネジをきつく締めすぎないようにご注意ください。小さいガスケットは、ガラスとクリップの間のクッション材としてお使いください。

鋳物のサビが原因でガラスが割れるケースがありました。錆びが盛り上がり、ガラスが圧迫されて破損の原因となったようです。ガラス交換の際には、鋳物のサビをきれいに落としてください。

また、スプレー式の液状ガラスクリーナーをお使いの場合は、吹き付けた液体がたれてドア下部にたまり、サビやガスケット硬化の原因となりますので、液だれしないようご注意ください。